

# キューバ友好フォーラム

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

革命前からキューバのジャーナリストとして約60年！  
フィデルとともに歩んだ、歴史の生き証人  
ルイス・バエスさんにきく

## キューバの 過去・現在・未来

**7月10日(土)**  
14:00~17:00  
13:30 開場



ルイス・バエス・エルナンデス  
Luis Báez Hernández

●主催 キューバ友好円卓会議  
<http://cubaentaku.web.fc2.com/>

●参加費 1000円  
★キューバ友好円卓会議会員 500円

●会場  
パルシステム連合会 新大塚分室  
2階大会議室  
東京都文京区大塚 5-9-2 新大塚プラザビル  
地下鉄丸の内線「新大塚駅」徒歩1分  
●当日連絡先 080-1108-9517 (岩瀬)



1936年11月24日ハバナ生まれ。資本主義時代にスポーツ記者として仕事を始める。59年1月1日、「アバンセ」紙編集の担当時からフィデル・カストロ関連情報の報道を開始。フィデルのベネズエラ訪問(59年1月)時の取材ジャーナリスト・グループに入り、4月~5月のフィデルの米国・カナダ・アルゼンチン・ブラジル・ウルグアイ訪問に同行する。6月、「レボルシオン」紙で仕事を開始。プラヤ・ヒロン米軍侵攻時は戦場特派員として「レボルシオン」と「ボヘミア」誌に出来事を報道。キューバ・ジャーナリスト同盟(UPEC)を創立(63)。「グランマ」紙創設者(65~67)。「フベントウ・レベルデ」紙(67~70)、「ボヘミア」(70~80)、「レビスタ・クーバ・インテルナシオナル」(78~80)、「プレサ・ラティーナ」(80~2005)で働く。1994年、プレサ・ラティーナ通信社からホセ・マルチ国際賞を授与される。UPECの「7・26コンクール」でジャーナリズム賞を何度も受賞。フィデル・カストロ議長の主要な外国訪問に同行。ルポルタージュ、インタビューなど著書多数。フィデル・カストロと面談した世界の著名人とのインタビューも多い。ローマ法王のキューバ訪問(98)を前にバチカンで法王に迎えられた。マクシモ・ゴメス將軍マチェテ・レプリカ賞(94)、フェリクス・エルムサ賞、プラヤ・ヒロン勲章を初め数々の賞を受賞。「研ぎすまされたペン、鷲の視点」(ラウル・ロア氏)と評されている。

★問合せ先 キューバ友好円卓会議  
〒157-0073 東京都世田谷区砧 8-15-14-101  
FAX 03-3415-9292  
★入会(年会費3000円)、カンパ随時受付中  
※住所・氏名・電話・メールアドレスを明記の上、下記にご入金ください。  
郵便振替 00100-9-499950  
加入者名: キューバ友好円卓会議